

天地

ネットワーク テーブル 431号

発行：天地シニアネットワーク／2016・8・31

「目 次」

TENTI・TODAY			1
会員の広場 <戦争の記憶の最終楽章><ふれあい充電講演会><ジャパン・レップ・ネットワーク（JRN）10周年記念講演会>			2
連載作品			5
隨 想	天のわざ、地のほまれ—地球を測れ、宇宙をはかれ— 8. 経度を確定せよ	伊那 閑歩	5
隨 想	『資治通鑑』について（3）	赤羽 清志	8
旅行記	そうだ京へ行こう・古刹の花物語（7） <圓光寺>	大竹 漠洲	11
講演会	「奈良興福寺文化講座」「新三木会」「すどう美術館」「紅茶の物語」		12
事務局			14

TENTI TODAY

リオ五輪が終了し、帰国してきた人たちの報告では、心配するような問題はほとんどなかったとのことでした。治安が悪い、衛生面で問題があると、大会前に盛んに報道されていましたが・・。いつものことですが、マスコミの、一点集中報道は、感心できません。

閉会式での、安倍首相の登場、びっくりしましたが、はたして良かったのか疑問です。世界的に安倍首相の顔が売れているとも思えませんし、政治家が登場するのは異例ではないでしょうか。ご自身もあまり意気が上がっているように見えませんでしたし、却ってお気の毒にみえました。日本向けのパフォーマンスとすれば、場所を間違えた気がします。

朝日新聞を購読していますが、広告ページが大幅に増え、戸惑っています。広告は、ほとんど見ませんので、広告なしの版があれば良いといつも感じています。記事まがいの広告、広告まがいの記事、不要な気がします。

プロ野球、ゴールは間近で、セ・リーグは広島の優勝が間違いなさそうです。昭和50年、広島カープが初優勝した時、転勤で広島にいました。その瞬間に立ち会えましたが、社内の転勤組は、はしゃぎ、地元組は、涙していました。

広島カープには、当時からの特有のカラーが今でも引き継がれ残っています。

す。派手さはなくても、玄人受けするような渋い、細かいプレーに魅力があります。若手中心なので余計に楽しみです。

いよいよ九月、秋の夜長を読書で楽しむ、というような季節に対応した生活、過去のものとなりました。都会は、混沌として落ち着きがありません。もっとゆっくりとしていたいのですが。

会員の広場

<戦争の記憶の最終楽章> (有田)

天皇陛下の「お気持ち」は、それだけで完結していてなんの注釈も不要だと思います。詳しく知らないので、口にする資格は無いのかもしれません、同様なケースで、どこかの国では、2週間後には全部手続きを終えて、譲位が整ったとか耳にしました。

政治的に歯止めをかけたければ、いかようにも方法があるはずで、それよりもっと重要なことは、少しでも早く、このお気持ちに沿うことではないか、頭脳で考える話ではなく、心で応じる話だと思うのですが。戦争体験と言えるほどのものではないですが、小生の記憶、羅列してみました。

父が「こんな戦争勝てるわけがない」とつぶやく。さっと表情を変えた母が「ダメ！そんなこと言っちゃ」と言う。

なぜか大人が大勢集まってきて、ラジオの音を大きくする。雑音の奥で誰かがゆっくりとメロディーをつけて喋っている。大人は皆、それまで見たこともないような独特的の表情をしている。目頭をおさえる人もいる。実に妙な、変な、居心地が悪い雰囲気だ。

「終戦」という言葉と共に、必ず目に浮かぶこの二つの場面。

私にとっての戦争の記憶の最終楽章だ。

いや、その後、空腹と付き合って、どんぐりや芋の蔓や草を、そして、虫や蛙や蛇を食べ続けた、あの何年もの長い年月が本当の意味の最終楽章か。

先日見た戦争映画の中で、新兵が「自分は人を殺せない (murder)」と泣きながら言うと、上官が「murder じゃない、kill すればいいんだ！」と言う。「動物を murder するとは言わないだろ？ kill すると言うだろ？ そうだよ、kill すればいいんだよ」と言う。

戦争で人が殺されたのを目の前で見たことはない。が、後になってみれば、「殺される」とか「死んじゃった」という、普通ではないことだったのだという場面を、幾つか鮮やかに覚えている。

母の手縫いの防空頭巾が暑くてかなわん。警戒警報が鳴る。
防空頭巾を脱いで見上げる。空が青い。
小さなギラギラが沢山見える。B-29だ。キレイだ！と思った。
遠くから、母が「頭巾！頭巾！」と叫んでいる。

たまに、下から小さなのが、そのギラギラに近づいていく。
ボッと煙が出て、その小さいのは落ちてくる。

あるとき、小さいのがB-29にぶつかって、ドワーッと
火煙が立つ。大人が手製の竹槍を手に手に集まる。
皆すごい形相をしている。怖い！
そして、ウォーッとか叫びながら一斉に何キロか先の松林の方角に向かって走る。
落下傘でアメリカ兵が向こうに降りてきたと、
母たちが口々にわめく。その人たちの形相も怖い。

空襲警報が鳴る。皆、前の道路脇の防空壕に走り込む。
が、向こうの飛行機も見たい。グルマンか、カーチスか？
乗っているアメリカ兵の顔が見える。ダッダッダッダッ・・・
機銃掃射だ。道路に点々と一直線に土煙が上がる。
母が叫ぶ「ヤスアキ！はやくはやく！！！」

また、空襲警報だ。母に手をひかれて防空壕に走る。
「アッ！」と母が叫ぶ。
その足元にガン！と落ちてきたものがある。
真鎧だか銅だか鉄だか・・・、まだ熱い。
「あと10cm前にいたら、私死んでた」と母が隣のおばさんに
言う。その人は一瞬無表情になって、何も言わなかった。
母は向こうを見て喋っていたので顔は見えなかつたが、
「ん？母が死ぬ・・・？」防空壕に居る間ずっと、何度も、
なんども、この言葉が口から出そうになる。

大人が数人、さつまいも畑に集まって、西を見ている。
今日もキレイな夕焼けだ。ヤンマが次から次へと
西から東に編隊をくんで飛んでくる。
例のギラギラの編隊は青空を背景に高く光り輝いていたが、
このトンボの編隊は夕空を背景に黒々と手が届きそうなくらい低い。

その日、夕焼けの美しさは格別だった。赤く染まるとか
なんとかいうようなものではない。文字通り西の空が焼けて
燃えている。ヤンマはいつものとおり編隊を組んで飛んでくる。
いつもよりもっと黒々として・・・。
後になってみれば、その日、例の東京大空襲だったのかもしれない。

(自立化支援ネットワーク・生部圭助さんから)

第 145 回 ・ ふれあい充電講演会

今回は、千葉 C-PAK で、中心的活動をして居る、巳城氏に登場頂き、国内・海外での大型プロジェクトを手掛けってきた中で、人生の基盤となったといえるダム建設プロジェクト完成までの苦労と達成感から生まれた、スマートライフ観を、貴重な画像を交えながらご披露頂きます。

開催内容

9月 26 日 (月) 17:30 - 18:40

テーマ：我がスマートライフの基盤はダム建設プロジェクトにあり

講師：IDN 千葉 C-PAK 会員 巳城 雅康氏

場所：四谷ひろば 2F コミニティールーム 2

会費：会員 500円 ビジター 1000円 懇親会費：(3000円)

申し込み：idn-kouenkai@npo-idn.com 締めきり：9月 23日（金）

◆講師からのメッセージ◆

ゼネコンに40年勤務し、前半の20年は国内の建設プロジェクト参画。トンネル、鉄道工事、道路工事、ダム建設工事に従事しました。特に生見川ダム建設プロジェクトに着工から完成まで7年間従事した。その経験が、後半の20年に取り組んだ海外のアルジェリア、モロッコのプロジェクトに生かされたと回想して居ます。今回は、皆様があまり接する機会のない、土木建設の醍醐味の一端を紹介いたします。

<10周年記念講演会・パーティー>

ジャパン・レップ・ネットワーク合同会社の公平（きみひら）です。

ハワイから残暑のお見舞いを申し上げます。

私共のジャパン・レップ・ネットワーク合同会社（JRN）もお陰様で10周年を迎えることができました。

これも皆様のご支援の賜物と、心から御礼申し上げます。

記念のパーティー（宴会）との声もありましたが、この際世の中の為になる講演会を開催致します。

講演会の詳細は添付致します案内状、あるいは、下記リンクをご覧下さい。

<http://www.kimi.com/bb/1.htm>

中小企業が大企業と闘う為には、知財がもっとも重要との理解で、TVドラマ「下町のロケット」で活躍した神谷弁護士のモデルとなった鮫島弁護士とリスクマネージメントの専門家の白木先生の講演会を開催致します。

白木先生は、川柳の大家ででもあり、そのご講演は笑いが止まりません。
皆さん・お知り合いの方・取引先のご参加をお待ちしています。
下記のメールへお申し込み下さい。

info@JapanRepNet.com

連 載 作 品

天のわざ、地のほまれ —地球を測れ、宇宙をはかれ—

伊那 閣歩

8. 経度を確定せよ

1783 年、アブラアン・ルイ・ブレゲのもとに、懐中時計の注文が入った。かれは、1775 年、パリで時計工房を開き、腕のいい職人として評判が高かつたのだ。依頼主は「世界最高の懐中時計を作ってもらいたい、金に糸目はつけない」という。この依頼主は、誰であろうルイ 16 世の王妃マリー・アントワネットそのひとであった。230 年ほど昔のことであるが、その頃のフランスと英國の時計製作技術については、まことに目を見張るものがある。「自動巻き」や「時刻を音で知らせる」、「ストップウォッチ」装置などはすでに常識になっていたようだ。軸受にはすべてサファイアやダイアモンドなど宝石を使う。油はねばりけが出るので、軸受に油を差すなどもってのほかだ。

注文を受けたブレゲは、張り切って困難な技術的問題に取り組んだ。時計の姿勢によるバラツキを解消する装置（トゥールビヨン）と 1 日のバラツキを表示する装置（イクエーションオブタイム）、ゼンマイの巻量表示（パワーリザーブ）、永久カレンダー（ペーペチュアルカレンダー）や、ダブル・ストップウォッチも組み込んだ。文字盤は透明なクリスタル、内部の歯車など精緻な仕組みが観察できるようになっていて、これを懐中時計として直径 63 ミリの純金ケースの中に収める・・・、これが当時のブレゲの遠大な計画であった。

しかしながら、注文を受けて 10 年後フランス革命が勃発、注文主マリー・アントワネットはフランス革命の犠牲となって、もはやこの世のひとではなくなった。それからさらに 30 年後ブレゲも死去してしまうのだ。時計は未完成のままブレゲの弟子が製作を継承し、受注後じつに 44 年を経て 1827 年ようやく完成した。完成した懐中時計『ブレゲ No. 160』通称『マリー・アントワネット』は、名にしおう機械時計の至宝としての高い評価をほしいままにしているのだ。ただし現在それはイスラエルの美術館の収蔵庫の奥深くにおさめられていて実物を見るることはできないらしい。その設計図は現存するものの、現代の技術をもってしてもひとつ作るのにたいへんな費用と、年数も 3 年かかるとのことである。ブレゲは時計製作技術を 200 年早めたと言われている。

ところが仏国だけでなく、当時英國でも希代の天才時計職人ジョン・ハリ

ソン（1693-1776）を頂点として、さらに高い技術が開発されていたのだ。なぜ時計技術がかくも突出して発展しなければならなかつたのか。それは、大航海時代を迎え、ひとえに外洋航海を安全になしとげたいがためだったのだ。

大航海時代、ある程度精密な海図や羅針盤が出来上がっていたらしい。しかも、北極星の高度を測れば（北半球では）緯度がわかる。南半球でも南極星は存在しないが、緯度を測定することは容易である。にもかかわらず多くの船がその居場所を見つかったのは、経度を正確に知る方法がなかったからである。バスコ・ダ・ガマ、フェルディナンド・マゼラン、フランシス・ドレイクなど優秀な船乗りたちも、幸運と神の加護を祈りながら、いきあたりばったり航海するしかなかった、という（デーヴィア・ソベル「経度への挑戦」角川文庫、以後しばらくこの本から度々引用させていただく）。

1707年、イングランドは、アン女王のもとスコットランドを併合し、グレートブリテン連合王国（以後、英国と呼ぶ）となり、スペイン継承戦争においても着々と戦果をあげつつあった。クラウジリー・シャベル提督は5隻の艦隊をひきいて、ジブラルタルでフランス地中海軍を撃破し、英国への帰途にあった。艦隊はビスケー湾を北上し、ブルターニュ半島の先端にあるウエッサン島の沖合を無事通過した。このあたりは海難事故が多発する危険な場所であり、「島に近づく船は血を見る」として恐れられていた。海上が晴れていれば問題ないのだが、その日、海は濃霧に覆われていた。艦隊はそのあたりで右折し東進すれば英國海峡にはいりこみ無事ポーツマス港に帰還できたのだ。しかしながら、何日間もたれこめた濃霧のためにウエッサン島の位置も確認できず、提督は混乱の極みにあった。艦隊が北に流されていることを有能な部下に忠告されても、身の程知らぬものいいとして、その部下を処刑してしまうのだ。

艦隊の進みゆく先には、英國南西端ランズエンド岬から点々と西に延びるシリ諸島が待ち構えていた。ここには、無数の岩礁がちらばり、英國近海でもっとも危険な海域であった。10月22日夜、旗艦アソシエーション号が座礁し、一瞬のうちに大破し沈没した。ほとんど同時に次の2隻が船底を粉じんにくだかれた。こうして4隻が沈没し、提督以下、乗組員約2000名の命が海の藻屑となった。

1740年、ジョージ・アンソン提督率いる艦隊は、南太平洋で大嵐にあい58日間にわたって大波に翻弄されつづけ、船員たちは疲労困憊し壊血病に苛まれながら、それでも目指すファン・フェルナンデス諸島（ダニエル・デフォーの「ロビンソン・クルーソー」の舞台となったロビンソン・クルーソー島がそこにある）と同緯度の海域に達したのであった。しかしながら、経度を知る方法を持っていなかつたがために、かれらは南米大陸とファン・フェルナンデス諸島間670kmの海上を右往左往し、時間がかかりすぎたために、目的地に到着した時には、おおくの船員が壊血病によって絶命していたという。

これらの海難事故が起こった原因は、つまるところ経度を知る方法がなかつたから、船の正確な位置を把握できなかつた、ということにある。17世紀後半になって、フランスや英國で天文台が建設されるようになったのも、そ

の第一の目的は地球の経度を定めることなのであった。1675年、英國王立天文台（グリニッジ天文台）の初代台長にジョン・フラムスティード（1646–1719）が就任した。かれは日食の日時を正確に予言して、有能な天文学者としての定評を得ていたのである。王立天文台とはいえ、王室からの資金援助はほとんどなく、かれは給料をつぎこみ、足りないところは家庭教師をしながら、天体観測機器を自作してその後40年もの間、忍耐強く星図作成をつづけたのであった。皮肉なことに、地表の経度を決めるためにもまずは正確な星図（と正確な時計と）が必要なのだ。

王立天文台第2代台長は、ハレー彗星の回帰（1758年に帰ってくること）を予言して有名になった天文学者エドモンド・ハレー（1656–1742）であった。かれは、オックスフォード大学を卒業後、一時セント・ヘレナ島にわたり、南半球の星図作成に貢献した。かれはアイザック・ニュートン（1642–1727）を深く敬愛し、ニュートンのライフワーク『プリンキピア』出版のために尽力したのだ。

1730年夏のある日、田舎のしがない大工ジョン・ハリソンが、ハレー博士にあうために天文台にやってきた。ハレーは丁重に応対し、ハリソンのクロノメーターに関するアイデアを聞いて、ただちに有名な時計職人ジョージ・グラハムを紹介した。グラハムはハリソンとおおいに意気投合し、ハリソンに大金を貸しかたえたのだ。これを契機に、ハリソンは製作に没頭し、弟ジエームズを助手として以後5年の歳月をかけ、超精密な時計（クロノメーター = 船舶上で使われる精密な時計）H-1（ハリソン1号）を完成させた。

ハリソンはただちにグラハムに完成したクロノメーターを見せ、ハレー博士も立ち会っておおいに満足していたらしい。その後行われたリスボン往復航行で、H-1は24時間に数秒もくるわなかつたのだ。

1714年、英國は経度法を制定、経度委員会が設立されたのである。経度を知る方法を発見した者には多額の賞金を出すことも決議されていたのだ。ハリソンは設立以来23年ぶりに、はじめて開かれた経度委員会（1737年）で説明をもとめられた。H-1は、当時世界最高の精度をほこるクロノメーターであった。その有効性も認められていた。経度委員会でもハリソンに賞金を与えることに何のためらいもなかつたであろう。しかしながら、ハリソンは根っからの職人であった。H-1にはまだ不満な点が多かったのだ。まず、重量が34kgもあるので、使い勝手がわるい。これでは賞金をもらうわけにはいかない。ハリソンは、経度委員会にH-1の改良を申し出たのであった。経度委員会でもハリソンの願いを受け入れた。

それから約20年あまり、ハリソンはあせることもなく、王立協会からの支援をうけながら、H-1の改良を試みつけ、H-2、H-3などの新作を次々に発表した。1759年に完成したクロノメーターH-4は掌にのるほどの小型でありながら、その性能はそれまでのものと変わりがなかつた。懐中時計ほどの大きさのクロノメーターは画期的であった。ハリソンは賞金を授与されたのである。

ハリソンの死後、英國には R. ケンドールや J. アーノルドなどハリソンの技術を継承する有能な時計職人が輩出し、英國は空前の時計大国になったのだ。英國はクロノメーターで海を制したといわれるのも、あながち過言でもないと思われる。1815 年には、世界中で 5000 個のクロノメーターが活躍し、1860 年には、七つの海で英國海軍は 200 隻の船に 800 個のクロノメーターを配備していたという。1831 年、チャールズ・ダーウィンが乗り込んだビーグル号が世界一周の航海にでるが、その第一の目的は全世界の経度を確定することであり、ビーグル号には 22 個もの精密なクロノメーターが搭載されていたという。

1767 年、王立天文台で「航海暦」を発行するようになり、船乗りはこれを使うため、1884 年、グリニッジ子午線を世界の本初子午線とすることが決定されこうして「世界の一日はグリニッジからはじまる」ことになったのだ。王立天文台のフラムスティード・ハウスのてっぺんから、毎日 13 時に球を落として、正確な時刻を知らせる習慣は今でもつづいている。天文台のギャラリーには、ハリソンの時計が「ザ・ハリソンズ」(ハリソン一家) として敬意をはらわれ展示されているそうである。

2016.7.9

『資治通鑑』について（3）

赤羽清志

参考 『China 2049 秘密裏に遂行される世界覇権 100 年戦略』

マイケル・ピルズベリー 2015.9 日経 BP 社

『中国 4.0 暴発する中華帝国』

エドワード・ルトワック 2016.3 文春新書

『本当に残酷な中国史 大著「資治通鑑」を読み解く』

麻生川静男 2014.9 角川新書

『資治通鑑選』 中国古典文学大系 14

編石川忠久他 1970.8 平凡社

1. 残酷な中国人

① 食人 cannibalism の風習 (『資治通鑑』に 52 件あり)

京大教授・桑原隠蔵は『資治通鑑』を 4 回読み、『支那人の食人肉風習』を著した。

① 美味・珍味として食べる。齊の桓公 (BC7 世紀) に、料理長の易牙はわが子を殺し蒸物にして提供した。

② 罰として罪人の身内を殺して食べさせる。BC11 世紀、殷の紂王は周の文

王の子伯邑はくゆうを捕えて煮て送ったところ、文王はそれを食べた。

- ③ 薬として食べる。唐の王友貞の母が病気になったとき、医者から人肉を食べさせるとよいと聞き、王貞友は自分の股の肉を裂いて母に食べさせた。母の病気が治り皇帝から孝行息子として表彰された。
- ④ 憎い相手を食って鬱憤をはらす。
- ⑤ 飢饉のとき、人を食べる。隋末の朱粲しゅさんは散騎常侍の段確とその数十人の従者を釜茹でにして「何といつても人肉より旨いものはない」と言って、周りのものに食べさせた。

910年、桀燕の建国者・劉守光は実父の劉仁恭、実兄の劉守文と戦争になり、劉守光は捕えられたが、その息子・劉延祚えんそくを守って孫鶴と呂覲りょくんは滄州で籠城したが食糧が尽き、男女の弱ったものを選び殺して煮物にして兵士に配給した。

唐末、吳王に封じられた楊行密が揚州に入城して見た悲惨な光景は、人を殺す勇気のない人たちが妻子を肉屋に売り殺してもらって食べたことであった。

② 残酷な所業

- ① 後漢 李確が郭汜かくしに酒を飲ませたとき、郭汜は毒が入っているかも知れないと疑い、毒消しのため馬の糞の絞り汁を飲んだ。
- ② 夏の桀王と殷王の紂王は暴君で、「炮烙の刑」（油を塗った銅柱を灼熱の炭火の上に架け渡し、罪人を渡らせる）をしばしば実行した。
- ③ 五胡十六国、前秦の2代皇帝苻生は暴君で尚書令の辛牢を、宴会で不手際があったとして、並みいる臣下の前で射殺した。また、ありもしない罪をでっちあげ功績のあった臣下やその親戚も殺した。
- ④ 魏の曹操は、自分の家来を斬り殺すことによって、危機予感能力を持っているものと部下を恐れさせ、その反逆心を抑え込んだ。
- ⑤ 南北朝、南齊の6代東昏侯は残酷な暴君であったが、クーデターを起こされ、鄆城に籠城、10万人いた男女の8割が疫病で死んだ。
- ⑥ 北齊（550～557）初代皇帝顕祖は、始めは聰明であったが、仙薬の中毒から殺人狂となり、身内の女を淫し、前王朝の721人を処刑して死体を尽く漳水しょうすいに投げ込んだ。
- ⑦ 「洗城」、「屠城」 城にいた全部の人を殺し尽して、あたかも城を洗ったように空っぽにすること。
『文選』が編まれ平和を謳歌した梁（502～）であったが、549年、北朝の東魏から亡命して来た侯景が乱をおこし、都建康に籠城した全員を殺した

- ⑧ 唐の黄巢の乱（875～84）において、賊軍は長安を攻め、市民を皆殺しにし「洗城」状態にした。
- ⑨ 「^か高」人の肉を骨までそぎ落とす。
- 桀燕の劉守光は、部下の孫鶴の諫言を聞かず怒って台の上にうつ伏せに縛りつけ、肉を骨までそぎ落として、兵士に食わせた。
- ⑩ 唐の太守・^{がんこうけい}顏真卿（顔真卿の従父兄）は、安禄山に高されながら、敢然と彼を罵った。
- ⑪ 五代十国、^{ひん}閩の薛文桀は勝手に国権を濫用したこと、國主・^{おうりん}王璘から見放され、捕えられて兵士たちは彼を生きたまま少しづつ切って食った（「^{れんしょく}齧食」）。
- ⑫ 新の王莽は、反乱軍に殺され齧食された。
- ⑬ 936年、後晋の節度使・^{とうおんき}董溫琪は、貪欲、凶暴で、巨万の富を持っていたが、戦死したとき、部下の^{ひけばい}秘瓊はその家族全員を殺し、すべての財産を奪った。その秘瓊と組んで范延光は反乱を起こそうとしたが、秘瓊は応じなかつたので、范延光は口封じのため彼を殺しその財産を奪つた。その後洛陽の副知事・揚光遠が范延光の財産を狙い、彼が謀反を企てた上でつちあげ、殺害した。
- ⑭ 942年、五代十国、南漢の高祖・^{りゅうげん}劉龑は、おぞましい残酷な性格で、その刑罰は、鼻に酢を注ぐ、舌を切る。手足をバラバラにする、腸を取り出す、炙ったり釜茹でにするなどであった。

③ 残酷な后妃たち

- ① 漢の劉邦の糟糠の正妻は呂后であったが、妾の戚夫人から汚いやり口で攻撃を受けた。劉邦の死後、呂后はその怨みを晴らすべく、戚夫人の眼を割りぬき、毒草を燻すべて耳をつぶし、薬を無理に飲ませて声をつぶした。そして丸裸にして廁に放り込み人ブタと名づけた。これを見せられた息子・惠帝は、ショックで神経衰弱になり、酒とクスリに溺れ24歳で若死にした。

- ② 中国の3大悪女は、漢の呂后、唐の則天武后、清の西太后。

則天武后は唐の高宗の昭儀（皇后の下のランク）であったが、王皇后を陥れるため、わが娘を絞殺し、その罪を皇后になすりつけ廢后に持ち込んだ。皇后の位についた則天武后は、王皇后と寵妃であった蕭淑妃の手足を切断、酒甕にいれて殺し死体を切り刻んだ。則天武后は、突厥との戦いに敗れた將軍・^{えんじんちび}閻知微を磔にし、肉を骨まで削ぎ、骨を砕き、親族

を皆殺しにした。また、突厥から戻ってきた使者・楊斉莊を処刑、山のように矢を討ってハリネズミのようにして、腹を割って心臓を裂き地面に放り投げた。

④ 皇后・皇女の淫行

① 299年、晋の惠帝（司馬衷）の皇后・賈后は、惠帝の知能が低かったため実権を握り、侍医の程拏とセックスに耽り、市街で美少年を見つけて竹かごに入れて宮中に連れ込みもてあそんでから殺害した。

② 宋の山陰公主は、前廢帝（劉子業）の姉で淫乱、附馬都尉の何戢に嫁いだが夫だけでは満足しないので、弟の帝がイケメン30人を姉にあてがつた。

<そうだ京へ行こう・古刹の花物語> (6)

大竹 漢州

東山の古刹・圓光寺

小さな「小有洞」の扁額の掛けられた詩仙堂前門を後にして、四つ辻を右手に折れ、閑静な住宅が並ぶ緑樹の多い田舎道を北方向に進むと、右手に見えてきた寺院の山門が、圓光寺です。更にこの道を北に向かうと曇殊院に至ります。この3ヶ寺の散策は、手軽な距離間にあります。しかし秋の紅葉・春の桜の季節は、何処も大勢の人々で賑わい大混雑です。最盛期でもゆっくりと楽しめるコツはあります。

大勢の観光客が訪れる前に訪れることが秘訣です。特に「枠取りの庭」では、朝一番を選ぶべきです。旅人の好みの「枠取りの庭」の寺院は、圓光寺と円通寺です。この二寺は、学生時代から朝の拝観が、慣例になりました。

詩仙堂の石川丈山翁は、徳川家康と深い関係にありましたが、圓光寺も徳川家康が開祖の寺であると言っても過言ではありません。

徳川家康は、慶長六年(1601年)に教学発展のため下野足利学校の学頭三要元信(閑室禪師)を招いて、伏見に圓光寺と言う学校を設立しました。徳川家康は、圓光寺の設立には、多大な資金援助を惜しみませんでした。

伏見に圓光寺が開設されると、僧俗を問わずに門戸を開き、大勢の学生を招き入れました。この学校の特筆すべきことは、当時では未だ珍しかった木製の活字で、多くの書籍を刊行した事です。圓光寺は、日本文化の発展に大きく寄与した寺院でした。現在、圓光寺で実際に使用していた珍しい木活字を見る事が出来ます。勿論、重要文化財に指定されています。しかし圓光寺も家康が亡くなり、財政的な支持が薄れ、一時臨済宗派の相国寺山内に移りました。その後、現在の一条寺小谷に移転しています。しかし、明治維新の廢仏毀釈で荒廃した圓光寺は、禅宗道場として広く開かれ、禅を志す若い禅僧の修行の場にもなり、今日まで至っています。本堂前の「十牛之庭」は、牧童が禅を悟るまでの過程を表現している構図と言われ、日々に若い禅僧は、

この庭と対峙して瞑想している禅宗道場です。

圓光寺は、訪れ毎に山門周囲に、細かな手が加えられ、寺院としての風格を増しています。山門を入れると、目の前に枯山水の「奔龍庭」が迎えてくれます。この枯山永庭園も、最近に作庭されて歴史のある庭ではありません。

案内所の右側には、ご本尊千手觀音像（伝運慶）、開山元信禪師の像、竹林図屏風六曲（円山応挙作）と木活版も拝観できる宝物館も造られました。

右手中門を潜れば、「十牛之庭」に進めますが、先ずは玄関口から本堂に上がり、方丈の間からの庭を眺望する事をお勧めします。特に秋には感動すること請け合いです。

圓光寺が季節の中で最も美しいのは、勿論紅葉の秋です。方丈の間の一番奥に下って座り、180度開けた庭に臨むと、庇で上部がカットされ、横長ワイドサイズの庭一面が、燃える様に美しい「十牛之庭」を堪能出来ます。

十年図に描かれた牛とは、人間が生れながらにして持っている仏心です。この庭に対峙して、悟った人が、仏心は自らの心の中にあるに至る心境です。

「十牛之庭」は、池泉回遊式庭園です。中門から歩いても鑑賞できます。この庭の南側には、洛北で最古の「栖龍池」があり、角度を変えて庭を堪能できます。紅葉の季節が、終わりになる頃には、散った赤い紅葉が苔庭や栖龍池を覆い尽くした光景を人詠んで「敷紅葉」と表されています。敷紅葉を踏みしめながら、庭園を散策する事もお勧めします。建物前に広がる治水回遊式の庭園ですが、幽谷に迷い込んだような錯覚さえ感じさせます。林の静寂の中から水の玉が転がるような澄んだ音色が聞こえてきます。地中に埋められた甕の底に水滴があたる音色です。「水琴窟」と呼ばれています。水琴窟の水面に渡された竹樋に落ちたひとひらの紅葉に、秋の風情を感じて止みません。

「十牛之庭」を巡った後、応挙が「雨竹風竹図」に描いた風景を再現したと言う青々と林立した「応挙竹林」の坂道を暫く上ると、竹林が途切れ、眺望の利く高台に出ます。境内の山上には、開祖徳川家康を祀った東照宮があります。その先には洛北洛西を一望できる世界が待っています。陽が傾き、西の嵐山の峰々に夕陽が沈み、全体が赤く染まり始める頃、この地は極楽浄土の世界と一体になります。圓光寺は、旅人が一番好きな寺の一つです。訪れて下さい。何処かで再会出来るかもしれませんね。

時ならぬ紅葉一枚蝦幕の上

高田冬虹

文化講座・講演会・美術展

奈良興福寺文化講座 28年9月29日（木曜日）

午後5時半～6時半：第一講

講演：「西洋建築から見た興福寺三重塔・5重塔」

その2：ゴシックの大聖堂との比較

講師： 千葉県文化財保護審議会委員 丸山 純

午後 6 時 40 分～7 時 ・・・・・心を静める
午後 7 時～8 時：第二講
連続講話・「奈良・祈り・心」 興福寺 貫首 多川俊映
会場：(学) 文化学園 文か服装学院内
受講料：500 円 先着 200 名
(JR 新宿駅南口、小田急線、京王線各新宿駅から 8 分、都営新宿線
新宿駅 3 分)

第 74 回 新三木会講演会のご案内

1. 日時・会場 9月 15 日 (木) 13:00～15:00 如水会館.
 2. 演題・講師 『岩倉使節団は明治国家に何をもたらしたか』
泉 三郎 米欧五回覧の会・会長
 3. 申込・会費 E-Mail : shinsanmokukai@gmail.com (本メール返信)
TEL: 047-464-4063 (留守電有)
フルネーム・卒年・所属 (例: 蔵前工業会、一般・紹介者)
会費 : 2000 円 婦人 1000 円 (如水会員は 2 千円)、学生無料
 4. ホームページ <http://jfn.josuikai.net/circle/shinsanmokukai/>
 5. 予告 10/20, 第 75 回 『沖縄の米軍基地一安全保障と歴史認識』
橋本 宏 元シンガポール、オーストリア大使
沖縄担当特命全権大使
- *****

すどう美術館

〒250-0853
神奈川県小田原市堀之内 110-2 ベルデュール 103

◆電話、メールは変わりありません◆

Tel 0465-36-0740 Fax 0465-36-0739

メール info@sudoh-art.com

ホームページ <http://www.sudoh-art.com>

菅創吉展 <すどう美術館 コレクション>

- 会期 ～9月 30 日 (金)
開館時間 10:00～17:00 (最終日 ～17:00) 火曜定休
入館料 500 円 (小学生以下無料 : 保護者同伴)
会場 箱根芸術空間 風伯
〒250-0311 足柄下郡箱根町湯本 540-4
Tel 0460-85-7440
- *****

○イベントのお知らせ○ 「紅茶の物語」 (日本緑茶センターより)

紅茶研究の第一人者である「磯淵 猛」先生をお招きして、直営店茶語店内でセミナーアイベントを行います。
紅茶の歴史から、基礎知識、美味しい淹れ方など、知っているようで知らない紅茶の基本を学べる素晴らしい機会です。美味しいお茶はもちろん、茶語で自慢のお料理やデザートとともに、楽しい学びの時間を過ごしませんか。

日時 平成 28 年 9 月 9 日 (金) 18:00~20:00
場所 新宿高島屋 6 階 「茶語 TEA SALON」
会費 税込 3,500 円 (お食事・お茶・デザート付)
定員 先着 24 名

ご予約は店頭、または店舗直通電話にて承ります。(事前予約制)

下記まで

茶語 (チャニー) TEA SALON 新宿高島屋店
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-24-2 新宿高島屋 6 階
TEL/FAX 03-5361-1380 営業時間 10:00~20:00

事務局

<事務所までの道のり>

場所：〒110-0016 台東区台東2-21-9 双葉ビル2F202号
(電話・FAX 番号：03-3837-0290)

御徒町界隈では、JR山手線・京浜東北線と昭和通りが南北に並行して走っています。

- ① JR御徒町駅北口を出てすぐ右に折れて、2ブロック直進すると、昭和通りに出ます。右に多慶屋の紫色のビルを見てさらに8ブロックほど直進すると、
- ② 都営大江戸線の新御徒町駅のA2入口が右側にあります。やや進むと(都営大江戸線の新御徒町駅A2入口を出た場合は右に回ると)、佐竹商店街のアーケードがあります。右折してアーケードを7ブロックほど直進すると、佐竹商店街の出口に到達します。そこを右に曲がってしばらく行くと、左側に薄青いビルがあります。(1階は焼肉屋「もとやま」。)そのビルの2階です。

<投稿歓迎><図書の推薦依頼>

<プリント版・郵送>

メール版(無料)を月に一回編集してプリント版を発行郵送しています。お申込みくださいれば送ります。その際には、実費として1月350円(4200円/年)をいただいておりますのでご了承ください。

<振込先> 振込先：三井住友銀行「神田支店」 (普通) 7871532
(口座名) テンチシニアネットワーク

<配信・郵送、不要の場合はご一報ください、中止いたします。>

天地シニアネットワーク・テーブル・431号

発行：2016年8月31日

:天地シニアネットワーク事務局（津田 孜人）

〒110-0016 台東区台東2-21-9 双葉ビル2F202号室

TEL・FAX 03-3837-0290

E-Mail tenti@mvc.biglobe.ne.jp

URL <http://www5a.biglobe.ne/~tenti/>